

風景の一部として

新座市立池田小教諭

岩本 紘樹 36 (新座市)

「へえ、この花、日本にもあるんだ。」と、アジサイの花を見つめながら、つづぶやく南米出身の妻。来日して初めての梅雨を迎えた2年前のことだ。

日本原産のアジサイが、地球の裏側でも咲いていることに驚いたが、梅雨や雨季のないう妻の祖国で、一体どんな姿なのか、全くイメージが湧かなかった。

昨年久しぶりに妻の故郷に帰省した際、商店の片隅に植えられていたアジサイを発見。ちよつとした感動と同時に、どこか違和感を抱いた自分。アジサイと周りの景観がしっくりせず、まるでそこにいる異邦人の私のように思えたのだ。

私たち日本人は、きっとアジサイを花としてみているのではなく、風景の一部として感じているのだろう。雨、かたつむり、色とりどりの傘、それら全ての中に咲くアジサイを見たとき、季節を感じるのだと思う。